

キャンペーンに参加して返却の習慣づくりをトライしよう♪

Rびん&P袋返却キャンペーン アンケート

今回のキャンペーンに参加してみて気づいたこと、感想をお寄せくださいm(_ _)m

グリーンシステムのGREENは「地球生態系のためのごみ減量」の頭文字

Garbage R eduction for E cology and E arth's N ecessity

生活クラブのグリーンシステム＝リユース・リサイクルの輪は

あなたが生活クラブに1本1枚を返却することで成立します



もう少し詳しく!

『容器包装リサイクル法』

日本で流通する商品の容器包装(ガラス製、PETボトル、紙製、プラスチック製容器)は、製造・利用する事業者「再商品化(リサイクル)する義務」が課され、事業者は自主回収してリサイクルするか、回収できない分を「再商品化費」として負担するルールです。自主回収により80%以上の回収率が見込まれる場合には、その品目に対する再商品化費用が全額免除される「自主回収認定」という制度があり、生活クラブでは現在900mlと500mlの2品目についてこの認定を受けています。

生活クラブの再商品化費用

生活クラブも毎年再商品化費を支払っており、2019年度の支払額は約963万円でした。

(グリーンシステムによりRびんの回収で158万円、P袋の回収で365万円を削減できました)

現在900mlと500mlの2品目は「自主回収認定」を受け費用がかかっていませんが認定基準(回収率80%以上)を維持できなければ、法律で決められた再商品化費用の負担金額が増えます。2018年度の北東京生活クラブの回収率は500mlびんについて83.3%(生活クラブ全体では78.5%)と、活動の成果もあり80%代を回復することができました!しかし、900mlでは75.0%(全体80.4%)と改善されていません。また、P袋回収率は目標の60%を大きく下回り22.7%(全体38.7%)でした。

再商品化費用はグリーンシステムに参加する組合員を増やし、回収率を上げることで削減できる経費です!一人ひとりの1本1枚が、エネルギーとCO₂の削減にとどまらず、生活クラブの経費の削減にもつながっています。毎週忘れず返却しましょう!